

コロナは収束した訳ではありません！

2023年5月8日より、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置付けられました。その後、約1カ月が経過しますが、感染状況は緩やかに増加しています。

下の表^{*}は、厚労省が週に1回公表している新型コロナウイルス感染症の「定点把握」です。全国約5000の定点医療機関から報告された、直近1週間の1医療機関当たりの患者数を表しています。（※近畿地方と総数を抜粋）

表1. 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）定点当たり報告数推移

区分	5/1-5/7	5/8-5/14	5/15-5/21	5/22-5/28	5/29-6/4
三重県	1.71	2.17	2.43	2.72	4.51
滋賀県	1.27	1.82	2.07	1.77	2.47
京都府	1.76	2.03	2.96	2.60	3.51
大阪府	1.96	1.85	2.37	2.75	3.33
兵庫県	0.65	1.68	2.62	2.36	2.89
奈良県	0.76	2.55	3.33	3.29	4.51
和歌山県	0.81	1.35	1.78	2.67	2.78
総数	1.80	2.63	3.55	3.63	4.55

参考：厚労省 HP（新型コロナウイルス感染症に関する報道発表資料：2023年6月以降）

表1より、5類移行前（5/1～5/7）と最新のデータ（5/29～6/4）の患者数を比較すると、三重県2.6倍、滋賀県1.9倍、京都府約1.9倍、大阪府1.6倍、兵庫県4.4倍、奈良県5.9倍、和歌山県3.4倍と近畿全域において増加しており、全国全体でみると、2.5倍に増加していることがわかりました。

注意喚起

5類に移行して感染対策が緩和されたため、緩やかな感染者数の上昇につながっていると考えられます。夏に向けて気温が上がってきている中で、対策の徹底は難しいかもしれませんが、換気や密の環境下でのマスクの装着など、日常生活の中で警戒を強めることが大切です。

OTG 健康保険組合
作成：保健師 小野
文責：常務理事 大西昭彦